

堀内鍵曲、平安古鍵曲

江戸時代（1603～1867）には、軍事計画者や城郭建築家は、敵の攻撃を阻止・混乱させるための新しい方法を常に開発していた。その工夫の一つが「鍵曲」である。道路や堀の構造を工夫して、通れる道を袋小路のように見せる「鍵曲」である。高い壁に囲まれた通りで直角に曲がるようにすることで、通行可能な大通りを袋小路のように見せることができた。この視覚的なトリックは、侵入者に道が塞がれていると思込ませ、方向を見失い、来た道に引き返させるために採用された。

萩城下町には、2つの鍵曲の好例がある。1つ目の「堀内鍵曲」は、「堀内」という上級武士の街の口羽邸近くにある。2つ目の「平安古鍵曲」は明治の軍人であり首相であった田中義一（1864～1929）の旧別荘の近くにある。「平安古鍵曲」は、美しく保存された土堀の上に、完熟した鮮やかなオレンジ色の夏蜜柑がなる夏の季節には特に風光明媚な場所である。この時期になると、美しく保存された土堀に、完熟した鮮やかなオレンジ色の実が差し掛かるのを見ることができる。夏蜜柑は萩の特産品で、萩らしい写真を撮ろうと訪れる写真家にも人気のスポットである。

堀内鍵曲

住所：山口県萩市堀内

電話番号：なし

営業時間：24時間（毎日）

入場料：無料

アクセス：内口羽邸より東へ徒歩2分

Googleマップのリンクは[こちら](#)

平安古鍵曲

住所：山口県萩市平安古143

電話番号：なし

営業時間：24時間（毎日）

入場料：無料

アクセス：田中義一旧山荘から北へ徒歩3分、かんきつ公園横

Googleマップのリンクは[こちら](#)